

令和5（2023）年度 資源評価調査状況報告書（新規拡大種）

ノロゲンゲ日本海

対象水域	日本海（秋田～鳥取）	参画機関名	水産研究・教育機構 水産資源研究所 底魚資源部、秋田県水産振興センター、山形県水産研究所、新潟県水産海洋研究所、富山県農林水産総合技術センター水産研究所、石川県水産総合センター、福井県水産試験場、京都府農林水産技術センター海洋センター、兵庫県立農林水産技術総合センター但馬水産技術センター、鳥取県水産試験場
------	------------	-------	---

(1) 調査の概要

- ・機構は生物情報の収集、日本海西部および北部における資源調査（分布調査）および各府県調べの漁獲情報の集約を実施
- ・各府県は漁獲統計の収集を実施

(2) データ収集状況

- 各機関により、令和4年度評価で用いた情報に加え、以下の通り情報収集を実施
- ・秋田県では2006年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
 - ・山形県では2022年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
 - ・新潟県では2022年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
 - ・富山県では2020年以降の月別漁法別漁獲量（ゲンゲ類）を収集済み
 - ・石川県では主要10港の2021年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
 - ・福井県では2021年以降の月別漁法別漁獲量（ゲンゲ類、タナカゲンゲを含む）を収集済み
 - ・京都府では2011年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
 - ・兵庫県では2014年以降の月別漁獲量（沖底）を収集済み
 - ・鳥取県では2011年以降の月別漁獲量（沖底）を収集済み
 - ・機構は各府県調べの漁獲量を集約、2010年以降の日本海西部における資源調査データを収集

(3) 生物学的特性

- (1) 分布・回遊：令和4年度評価報告書（https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2023/03/report_2022_252.pdf、2023年11月20日閲覧）を参照
- (2) 年齢・成長：同上
- (3) 成熟・産卵：同上
- (4) 被捕食関係：同上

(4) 備考

- ・資源評価調査報告書については令和2年度に作成および公表済み
(https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2023/03/report_2022_252.pdf、2023年11月20日閲覧)
- ・ゲンゲ類の漁獲量には未整理部分があり、引き続きデータの精査が必要
- ・日本海西部・北部における資源調査等のデータ蓄積がさらに必要